

みやぎSDGs Farm



みやぎSDGsファーム

国連が提唱する「SDGs(持続可能な開発目標)」を軸に企業や個人が連携し、より豊かな地域づくりを目指す取り組み「みやぎSDGsファーム」の基幹プログラムです。SDGs活動を推進する人材「みやぎSDGsアンバサダー」を養成するなど、2021年から河北新報社が運営しています。



詳しくはこちらから

賛同企業
募集中!!

[申し込み・問い合わせ]

河北新報社営業局

TEL. 022-211-1318

☑ koukoku@po.kahoku.co.jp

祝「みやぎSDGsアンバサダー」認定！ 「わたしのSDGs活動宣言」Vol.22



皆さんはSDGsと聞いたら何が思い浮かびますか。
私は正直、SDGs

について考えたことはありませんでした。SDGsとは遠い存在のように思っていたからです。しかし、今回みやぎSDGs Farmに参加したことにより考え方を少し変えるだけで身近な存在になるということを知りました。だからこそ、私は日々の生活の中で家族と話し合い3つの目標を掲げて実践していきたいと思えます。

家族でゴミの分別からやっていきたいと思えます。ゴミの分別を正しくすることにによってゴミの削減に直結すると思います。例えば牛乳パックやプラスチックトレーなどを可燃ゴミとしてではなく洗うことに



皆さんは商品を手にと取る時、何を大事にしますか？
近頃、「エンカル消費

費」という言葉を耳にするようになりました。今期社内のSDGsキーパーソンに立候補しさらに意識するようになったのです。私は旅行に行くのが好きで、その土地の名産品を選ぶこと、食べることを大事にしています。それもエンカル消費の一つ。

その商品が今までのような背景があり、目の前にあるか、今後どのようになるのか、そんなことを考えながら、商品を手にと取るようになりました。私が勤めているリコージャパンでも「SDGsと事業の同軸化」を掲げ、オフィスショールームの社内実践のもと複合機をはじめ社内のレイ



未来を担う子供たちに『木のぬくもり』を通じた取り組みを継承する事で世界中

が幸せになる。そう願ひ日々実践していき

私は『木』に関わる仕事をしています。その『木』は地球上唯一の循環資源と言われます。再生可能な天然素材である木材の特性を最大限活かし、木のぬくもりを形にしています。『木』は有形無形に姿を変え、自然と暮らしを循環します。伐期(ばっき)と言われる適時に木材を伐採し、植林をする事で山の生態系を守り、山そのものが豪雨などの天災に強くなり、私たちの暮らしを守ってくれます。

『木』は同時に海の豊かさを守る一役だ。

我が家のSDGs

宮城県民共済生活協同組合 鈴木崇史さん

よって資源ゴミとして出せば再利用できるからです。再利用できるものが増えれば地球上からゴミの量を減らすことにもなります。さらに焼却の際に排出される二酸化炭素の量を減らすこともできます。

また私は仕事や時間のバランスを考え、家事や育児の分担を家族で話し合っていていきたいと思えます。男性だから「家事をやらなくていい」「育児は女性が行う」ではなく性別関係なく家事や育児を分担することで大人になった際に子どもたちが自ら先入観なく家事や育児に参加できるような環境づくりをしていきたいです。

アウトなどを提案しています。

特に主力製品である複合機は、再生プラスチックを約50%使用しており、複合機を販売することでお客様と一緒にSDGsの輪を広げています。現在、コロナウイルスに加え地球温暖化、水害など先の見えない時代だからこそ、後世にバトンをつなぐべく社会とのつながりを大事にしたいもの。

お客様の働き方に合わせて先を見据えたオフィスの提案をしていくことが私のSDGs宣言です。現在サステナ経営検定取得に向けて勉強しており、さらに社会や顧客に選ばれたい人材になるべく邁進します。

※「エンカル消費」＝地域の活性化や雇用などを含む、人社会・地域・環境に配慮した消費行動のこと

五里霧中だからこそ今できること

リコージャパン 佐藤萌さん

木の手入れを定期的に行い山の地面に陽をあてることで、落ち葉や枝などが養分になり、蓄えられます。やがて大海に流れ貝や魚を育みます。共に陸の豊かさを守り、食・住を通じ私たちが笑顔になります。

『木』は住み続けられる街づくりに、笑顔あふれる社会に貢献します。私たちが創る建築は街に木を植え森をつくることと同じ意味をもちます。木材に含まれる炭素は光合成により大気中の二酸化炭素を取り込んだこと由来。大気中の二酸化炭素を固定化することに。

使った木材分をまた植林し、山に街に『木』を循環させ続けま



おめでとうござります!!

